

# Fuji Sankei Business

## 配管内の赤さび防止装置

### 欧市場開拓を本格化

日本システム企画 CO<sub>2</sub>削減寄与

日本システム企画(東京都渋谷区)は、欧米で給水管や空調配管内の赤さびを防止する装置の市場開拓を本格化する。すでに欧州連合(EU)で基本特許を取得しており、「信頼性が大幅に向上した」(熊野活行社長)ことや、環境保全にも貢献できる点を武器に、英国やフランス以外の国への売り込みに力を入れる。さらに、米国でも近く本格的な営業活動を始め、年内には現地での特許も成立する見通しだ。

この装置は「NMRパイ

プテクター」と呼ばれ、NMR(核磁気共鳴)技術を活用している。配管の外部に設置し、水分子の水素の核を回転させ、配管中に放水を作る仕組み。これによって赤さびは、水に溶けにくく配管の強度を損なわない黒さびに変わる。このことで、水の味やにおいが大きく改善する。

費用は給水管の場合、従来の配管更新や更正工事と比べて、5分の1から10分の1以下で済み経済的。

また、地球温暖化の原因でもある二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)



の削減にも寄与する。例えば築20年以上を経過して、赤さびが発生した国内のマンション(1棟平均は42戸)の場合、配管を更新する際には生産時に約25トンのCO<sub>2</sub>が発生した材料を採用する必要があるが、その分を削減できることになる。

欧州では英国で着実に実績を積み重ねている。具体

的にはバッキンガム宮殿をはじめとしてマリオットホテルやハロッズデパート、写真館といった代表的な建物に納入しており、仏の事例を含めると納入実績は40棟に上る。

欧州の建築物は歴史が古いのに加え、NMRパイプテクターの補助金制度があるため、今後は大幅な需要の伸びを見込む。また、欧州では環境問題に対する関心が高いため、今後はCO<sub>2</sub>削減に寄与する点を前面に打ち出した営業活動を展開。2〜3年後をめどに数千棟の納入実績を目指す。欧州に続き米国でも力を入れるほか、中国など集合住宅が多く配管需要の活性化が見込まれる国での営業活動に力を入れる。